

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 365

■ 第9回会員企業アンケート調査結果報告会（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、毎年度、会員企業の皆様のご協力をいただき、会員企業の皆様の次世代自動車に対する対応状況等を把握するとともに、当センターで実施する事業の参考とすることを目的とした「会員企業アンケート調査」を実施しています。

今回は、今年2月に実施しました第9回アンケート調査の結果(*)について、会員企業の皆様の次世代自動車に対する意識や次世代自動車への取組状況等を認識していただくとともに、今後の次世代自動車への取組みの参考としていただくため、当センターの堀センター長による「会員企業アンケート調査結果報告会」をWeb形式により開催しました。

(※対象会員企業数 517 社、回答会員企業数 190 社、回答率 36.8%)

■ 日 時 : 2026年8月7日(金) 13時30分～14時30分

■ 場 所 : Web形式

■ 参加者 : 46社/61名

2026年度 会員企業アンケート調査結果報告会

第9回 会員企業アンケート調査結果報告
～ 次世代自動車への取り組み状況 ～

2026年 8月 7日

次世代自動車センター浜松 センター長 堀 伸仲



77 第8回 会員企業アンケート調査結果《「CASE」による影響度の意識レベル》

(1-2) 次世代自動車「E:電動化」による影響度の意識レベルの変化
(第2回～第9回)

アンケート 調査回数	回答企業 数(回答率)	「E:電動化」に対する影響度意識				
		高	中	低	分からない	計
第2回 (「15年2月実施」)	101	4.3	4.5	1.2	6.6	27.7
第3回 (「16年2月実施」)	92	4.3	4.6	3	6.2	25
第4回 (「17年2月実施」)	120	4.7	4.7	2.4	6.2	26
第5回 (「18年2月実施」)	144	5.5	6.6	2.3	9.9	34
第6回 (「19年2月実施」)	205	8.8	9.2	2.5	13.6	54
第7回 (「20年2月実施」)	221	9.5	9.8	3.0	13.5	58
第8回 (「25年2月実施」)	196	8.2	8.7	2.7	11.7	59
第9回 (「26年2月実施」)	190	41.8%	44.4%	13.8%	59.7%	10.2%

注) 無回答を除く。

78 第9回 会員企業アンケート調査結果《「CASE」に対する取り組み状況》

(2-1) 次世代自動車に対する取り組み状況
「C:つながる化」「A:自動運転化」「S:シェアリング化」「E:電動化」

区分	何もしていない	調査中	開発中	量産中	分からない その他	計
C	129	33	8	13	7	190
A	120	42	11	11	6	190
S	149	26	0	6	9	190
E	41	48	49	47	5	190

先行開発企業が多い分野は「E:電動化」であり、アンケート調査に回答した会員企業の50.5%(96社/190社)の企業が「E:電動化」の分野で先行開発企業である。

86 第9回 会員企業アンケート調査結果《2026年度の事業内容》

(3-1) 30項目の開催支援事業の人気ランキング投票結果

ランキング「ベスト5」	ランキング「ワースト5」
(1) 次世代自動車フォーラム	(1) ものづくり中小企業向け 国産技術実証活動
(2) 次世代自動車関連の 製造現場見学会	(2) 開発企業向け 国産技術実証活動
(3) 技術動向講演会 (次世代モビリティ関連)	(3) 工学系学生の インターンシップ
(4) 車両分解活動 (スズキ e-VITARA)	(4) 自動車工学基礎講座 (新安全の基礎)
(5) 技術動向講演会(CASE)	(5) 現場改善のための ワークショップ

人気のある支援事業は、情報提供の事業という傾向は昨年度と同様である。製造現場見学会や部品ベンチマーク活動の人気は、相変わらず高くなっている。

人気のない支援事業は、昨年度と同様、「国産技術探索基礎講座」、「インターンシップ」、「現場改善ワークショップ」であり、「参加したい」との回答が極端に少ない事業であった。

90 第9回 会員企業アンケート調査結果《支援事業の定量効果指標》

(5-1) 開発の支援事業における定量効果指標

定量効果指標の考え方

『会員企業にとって、次世代自動車に対する取り組み状況において、最も高いハードルは、「調査中」から「開発中」「量産中」への移行であり、支援事業の成果は、そのハードルを越えた企業数で表すことができる。』

会員企業アンケート調査結果に基づく定量効果指標として、

a) 入会後これまでに、先行開発企業となった企業数 218社 (212社)

b) 今回の調査で、増加した先行開発企業の企業数 19社 (24社)

尚、先行開発企業:「開発中」「量産中」と回答した会員企業のこと。

【参加者の声】

- ・次世代自動車に関する業界動向や各社の取組状況が把握でき、自社の検討に役立った。
- ・地域サプライチェーン全体で「電動化」の取組みが着実に進んでいる実態や、先行開発企業が「開発中・量産中」と「調査中（次のテーマ探し）」を循環している動向がデータで把握でき、大変参考になった。
- ・会員企業の方々が着実に次世代への取組みを進められていることがわかった。
- ・会員全体の活動状況や、興味のある志向が理解できた。会社としてトップから従業員全体まで活動する目的、意欲が大事であることがわかった。
- ・同業他社の動向を知る良い機会となった。
- ・支援する側として、その企業の現場改善、固有技術の探索など、置かれている状況に応じた次世代自動車センターとの連携について理解を深めることができた。
- ・センターの様々な取組や現状を知る良い機会となり、大変参考になった。
- ・各企業の取組状況や次世代自動車センターの方針について、わかりやすくまとめていただいた。
- ・弊社として、センターを有効に活用することを推進しており、取組状況を把握できた。
- ・参加できていなかった取組みも知ることができて良かった。また、参加者の参加状況の2極化がわかった。
- ・他の会員企業の動向が理解できた。
- ・次世代自動車センター全体の活動内容が把握できた。会員企業の動向も一部垣間見ることができた。
- ・他社含め業界の動向を確認させていただくことができた。
- ・会員企業の取組状況が参考になった。
- ・会員企業の現状や活動概要が把握できた。他社の動向や自社の現状と比較ができた。
- ・本年より参加のため、これまでどんな活動をされてきたのかわかり参考になった。
- ・EVの流れが鈍化しているが、流れに乗らないと車載系は厳しい。中国コストを引き合いに出されるが、JAPAN オンリーで戦える技術が必要と感じた。
- ・各支援プログラムの活動状況やその内容、今後予定されている支援活動がわかり参考となった。
- ・センターがどのような支援事業を展開しているかを再確認できた点や、会員企業がどのような支援事業に参加されているかなどの動向も把握できたので参考になった。
- ・部品メーカーの次世代自動車ビジネスへの取り組み状況が把握できた。
- ・センターの取組内容や事業計画、会員企業様の先行開発状況などを知ることができた。
- ・これまでの活動内容を再確認でき、引き続き参加していく。
- ・会員企業の実態及び求めている事業が明らかになり、これからの推進策について勉強になった。
- ・今年度からの参加のため、昨年の取組みを具体的に知ることができた。